日刊 動労千葉
85.1.17
No.1840
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

いま動労の職場で何が起きているか

NO1 『全員で出向・休職しよう』と組合員を追い出す動労本部革マル

組合員のみなさん。全国の国鉄労働者の皆さん。一月十日、国鉄当局は「分割・民営化」を基本に「六五年までに一八八〇〇〇人体制」を骨子とする独自の「再建」案を発表し監理委員会に提出した。国鉄をめぐる決戦がいよいよ不可避となる中で、今日動労「本部」革マルは「一人の首切も許さないために三本柱の実効をあげよう」と合唱し、組合員を出向、休職させる運動に組織をあげて取り組んでいる。動労職場の実態を暴露し革マル分子の追放、一掃にむけ闘おうではないか。

「分割・民営化」―十万人首切りの先兵＝動労「本部」革マル

動労「本部」革マルは、昨年の全国大会において「国鉄を国鉄として維持することが職場と仕事と生活を守る道」とし、そのために「再建フォーラム運動」「骨身を削って働こう運動」を組織をあげて取り組むことを決定した。

ところが大会直後、監理委員会が「分割・民営化」の「緊急提言」を行い、これを受けた当局が首切り「三本柱」を提案したことにより、一気に路線の破綻、ペテン性がつき出されてしまった。

動労「本部」革マルは、なんと「三本柱は政府、監理委の生首切り攻撃を阻止するためのもの」といいきり、当局に全幅の信頼をおき忠誠を誓ったのである。そして「雇用安定協約破棄」のどう喝をもってする当局の「三本柱」強要に屈し、否むしろ率先して受け入れたのだ。動労「本部」革マルは言う。「派遣、一時帰休について本人の意志を尊重することを当局に約束させた」「団体交渉を積み上げ、内容に歯止めをかけた」・・・・・と。

革マル分子が「雇用安定協約を存続させた闘いは日本労働運動史上かってない成果」などと吹聴しようが、それが全くのペテンであることをわれわれは何度となく明らかにしてきた。すなわち、彼等が当局と結んだ〝交渉記録抜すい〟は、「三本柱の有効な活用を前提として雇用安定協約が維持される」とうたっていることを見れば一目瞭然のことである。

必死の努力にもかかわらず、一月十日、当局が「分割・民営化」を基本に「六五年までに一二四五〇〇人の要員削減」の独自の「再建」案を発表したことにより、動労「本部」革マルは大混乱に陥っている。しかし、彼等は中曽根、国鉄当局の先兵となって闘う国鉄労働者を叩きつぶし、国鉄労働運動の産業報国会化の実現に唯一、「主流派」として生きのびる道を夢想する最悪の反動分子である以上、「分割・民営化」―十万人首切りを組織をあげて推進していくことは明白である。

若い青年部員を「セールスセンター」へ送りこむ「東京地本」

革マル分子が支配する職場で、今何が行われているのか。

なんと、「一人の首切りも許さないために三本柱の実効をあげよう、職域を拡大しよう」をスローガンに「全員で出向しよう、休職しよう」という運動を全力で展開している。革マル分子を先頭に年輩者に退職を強要する一方、青年部員全員にアンケートを実施し「派遣」か「休職」かの希望をとり、職場から放り出すオルグを行っている。

とりわけ東京北局が四ケ所に設置した「セールスセンター」には、甘言とどう喝をもって若手青年部員を送り出し、「田端から十五名が応じた」「武操、松戸で二〇名だ」と競い合わせているのである。

彼等は「首を守るため」「必ず職場に帰す」などとだまされ、「激励会」なる出陣式をもって二月以降「セールスセンター」に配転となり、一軒一軒家を訪問して切符を売り歩く増収活動を連日強制されるのだ。当局と革マル分子は、労働者が嫌気を起こしやめてしまうことを狙っているのだ。

（以下次号に続く）

分科情報
1984 12.17
NO 4
動労田端支部業務委分科
発行者 佐藤 才二男
編集者 駅員 [illegible]

決意をもって15名の公員の仲間がセールスセンターを希望　昼休憩が一時帰休

12・21激励会に全公員は結集しよう

全公員の皆さん！

10月8日の分科総会以降、今日まで、私達は過酷な条件に耐える闘争、そして、雇用安定協約を存続させるための別紙3・3次妥協一時帰休の実動をとりあげるための闘いを拡大する闘いのなかで、職域を拡大する闘いの中で、日体的に、ホテルへの出向の取り組みやセールスセンターに向かう出向、休職などを通じながら仕事のなかで、「オレがオレが」やる「革命の人」達がどんどん、たんなる組織をのりこえ、ためらいもなくどんどん出向していくけど、オレら一時帰休でガンバルぞ！雇用安定協約を存続させるこの闘いの中で、首を切られる人達の中で、オレら一時帰休でガンバルぞ！ためらいもなくどんどん出向していくけど、どんなに首を切られる人達の中で、オレら一時帰休でガンバルぞ！雇用安定協約を存続させるこの闘いの中で、首を切られる人達の中で、オレら一時帰休でガンバルぞ！

今までに、「首を切られる人達の中で、オレら一時帰休でガンバルぞ！」雇用安定協約を存続させるこの闘いの中で、首を切られる人達の中で、オレら一時帰休でガンバルぞ！

全公員の皆さん！

今までに、「首を切られる人達の中で、オレら一時帰休でガンバルぞ！」